

奨励

聖日礼拝

北浜チャーチ
黒田禎一郎

2019年2月17日(日)

テーマ：「私たちは神の作品です」

聖書：「しかし、主よ。今、あなたは私たちの父です。私たちは粘土で、あなたは私たちの陶器師です。私たちはみな、あなたの手で造られたものです。」
イザヤ64:8

- ・神(陶器師)は、私(粘土にすぎない)を最高の作品として造るお方大切なこと：

① 神 ⇒ 「主」、「父」、「陶器師」

② 私は「粘土」(固まっていない泥)である

- ・粘土：最近、粘土について科学的観察と分析が進んできた。それまで粘土と呼ばれてきたものに、化学的吸着、イオン交換、触媒性などがあることが分かり、その他の性質が認められるようになった。

- ・「粘土は千の利用法がある」

ノーカーボン紙、油脂の脱色、ガソリン・灯油の脱水、鋳物、ボーリングの潤滑剤など。興味深いことに、粘土は有害なバクテリアを含み、余分な水分を吸収して下痢を防ぐため、胃腸薬にも含まれている。他にカラープリンター、おむつ、ノーカーボン紙、化粧品、シャンプー、歯磨き、あるいはその原料などに使われている。

- ・粘土には多様性と特殊性がある。土にすぎない。

⇒土である故に、「もろい」(壊れやすい)人間の姿そのものだ

(71歳の私、失敗、ミスを通して・・・痛感：主の訓練)

生涯現役という言葉があるが、未完ということですね。完成作品ではないということです。粘土は固まってはいないので、陶器師の手で、はじめて意義深い器となる。

- ・私たちは、自分自身をどのように神の前に置いているでしょうか。

* イザヤの言葉は、私たちが価値ある器に造られる過程を語っている。

「私たちは神の作品であって、良い行ないをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行ないに歩むように、その良い行ないをもあらかじめ備えてくださったのです。」 エペソ2・10

